

- 1) 昭和62年度事業報告・決算報告
 - 2) 昭和63年度事業計画案・予算案
 - 3) 1990AGU (アメリカ地球物理連合) の総会の協力について
 - 4) 藤原賞委員からの意見について
 - 5) 「気象集誌」印刷方式その他について
 - 6) 沖縄大会の援助について
 - 7) 「堀内基金奨励賞」委員からの経過報告
 - 8) 大会の当番について
 - 9) 総会について
- (4) 「天気」の論文などについて
論文の数自体は沢山集まっているが、掲載される原稿の数が少ない。レフリーのあり方を検討したい。このことについてアンケート実施したい。
- (5) 会員の募集、移動などについて
会員募集の案内、入退会者の紹介などを「天気」に入れることについて審議された。入退会者の紹介については事務局が今後その方法を検討して行くことにする。
- (6) 「天気」発送業者の交替について
「天気」発送の管理を改善するため、4月号から発送業者をかえることになった。経過を見て「集誌」「研究ノート」「予稿集」についても検討することになった。
- (7) 委員の交替について
「企画講演」委員として甲斐憲次氏(気象研究所)の追加新任が承認された。
- (8) その他
学会の会計が62年度は1億円を超えた。会計事務のチェック体制の強化を検討して行く必要がある。

編集後記：かるがもで賑わう大手町界隈ですが、先日、雨の中で紫陽花がひそやかに咲いているのを見かけました。大きなビルの立ちならぶこの街でも結構季節が感じられるものですね。

さて、「天気」6月号はいかがでしたか？ 地球大気の小規模現象あり、惑星大気循環あり、さらには「教科書に載らない」気象のはなしに法律までもというように盛りだくさんの内容になったと思っています。特に、冒頭の解説において著作権法が取り上げられているのを見ておどろかれた方も多いと思いますが、これは国際交流

が盛んに行われつつある今日において認識を深めるべき問題であろうと考えます。

編集委員として2年目を迎え、朱筆を握るのもようやく慣れてきたかなというところです。校正の際には内容にあまり立ち入らずに心を空しくして字面だけを追うように努めていますが、原稿の内容が面白いと、つい校正をする手もおろそかになってしまいがちです。今後もそのような校正者泣かせの原稿をお待ちしていますので皆様、奮ってお寄せ下さい。(立心偏のS.Y.)